

補助事業番号： 19-57

補助事業名： 平成19年度 地域産業技術の振興等補助事業

補助事業者名： 財団法人 東北産業活性化センター

1. 補助企業の概要

(1) 事業の目的

東北地域の機械系製造業におけるリスク管理への取り組みの実態および意識の調査、ならびに比較的取り組みの進んでいる企業の実態調査などに基づき、東北地域の企業がリスク管理の取り組みを積極化するための具体的な指針を定め、機械系製造業の安定的な経営に寄与する。

(2) 実施内容

当センター：<http://www.kasseiken.jp/index.php>

- ア. 第1回調査委員会（8月6日）
- イ. 東北地域の製造業をとりまく経営上の懸念事項と、その対応に関する調査（アンケート調査）実施
- ウ. 第2回調査委員会（10月29日）
- エ. 企業ヒアリング調査実施（11月19日～12月18日）
- オ. 新潟県中越地震、新潟県中越沖地震被災地域の企業、商工団体、行政への視察・ヒアリング調査（12月3日～4日）
- カ. 第3回調査委員会（1月17日）
- キ. 各調査の分析と課題の抽出
- ク. リスク管理のチェックシートの作成、東北地域でのリスク管理体制の検討
- ケ. 報告書素案作成
- コ. 第4回調査委員会（3月7日）
- サ. 報告書完成

2. 予想される事業実施効果

本調査の中で、他の企業の子会社ではない「独立系の企業」は、親会社の支援・指導を受けられないなどの理由からリスク管理への取り組みが遅れており、この取り組み促進が課題であることが明らかになった。ただし、独立系の中小企業の中にもリスク管理に意識を配るとともに、むしろ積極的にリスクをとって新事業に取り組んでいる企業もみられた。これを踏まえ、本調査では東北地域の中小企業、特に独立系企業の受注生産型の企業を想定してリスク管理の指針を取りまとめ、そこに先進的な企業へのヒアリング調査に基づく

教訓も盛り込んだ。これらの指針を活用することで、経営者や担当者が自らに必要なリスク管理への意識・取り組みを具体的なチェック項目を確認し、企業の意識啓発や取り組みの指針に活かされるものと思われる。

一方、先進的な企業へのヒアリング調査の教訓として、リスク管理を推進する上では自社内での取り組みに加えて、近隣の企業・同業種との“近所づきあい”と遠隔地・異業種との交流が重要であることが明らかになった。これを踏まえ、東北地域の企業がリスクテイクし新事業を開拓することへの重要性、そのために必要な地域の人材・組織の必要性、企業のリスク管理全般を支援する「リスクマネジメントコーディネーター」（仮称）の必要性を明らかにした。

これら、企業が自社で取り組むべき事項と、東北地域を挙げて企業のリスク管理を支援とを併せて取り組むことにより、東北地域の製造業の経営基盤をより安定させるとともに、積極的に新事業や市場を開拓し、中長期的な企業の発展につながることを期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成19年度 地域産業技術の振興等補助事業

東北地域の製造業におけるリスク管理に関する調査報告書 および概要版 各800部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 東北産業活性化センター

(ザイダンホウジン トウホクサンギョウカッセイカセンター)

住所：980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9-10 セントレ東北ビル 9F

代表者：会長 幕田 圭一（マクタケイイチ）

担当部署：産業技術振興部（サンギョウギジュツシンコウブ）

担当者名：佐々木 隆（ササキ タカシ）

電話番号：022-225-1426

FAX番号：022-225-0082

URL：<http://www.kasseiken.jp/index.php>